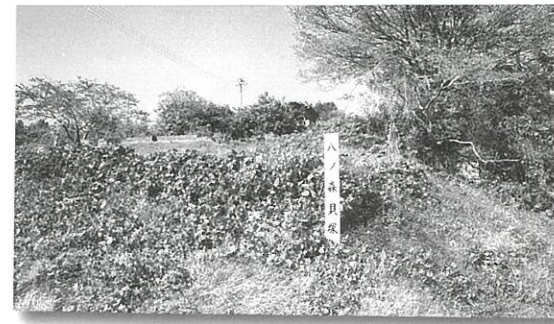
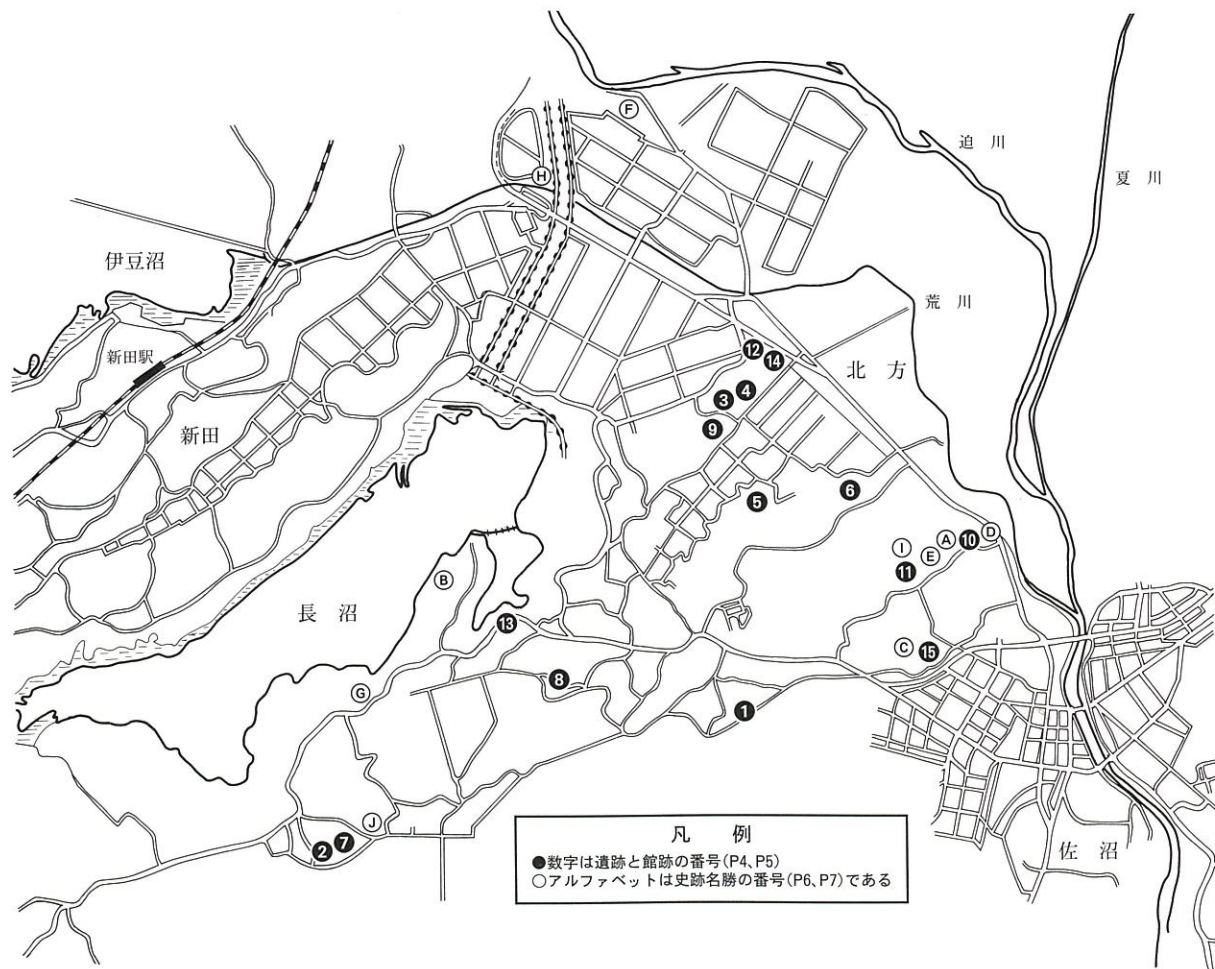


# 北方地区の遺跡と館跡

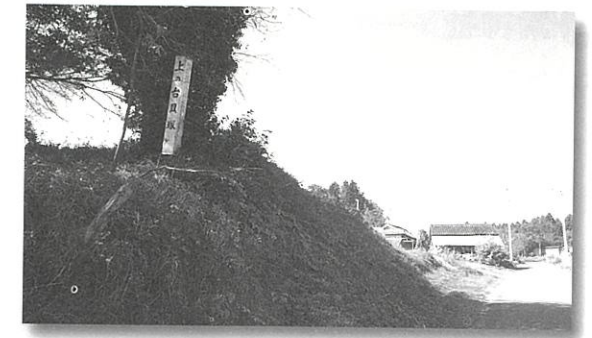
北方地区にはどのような遺跡、館跡が残っているのでしょうか？

番号	遺跡名	時代	種別
1	八ノ森貝塚	縄文前・後・晩期、古代	貝塚
2	上ノ台貝塚	縄文前～晩期	散布地
3	堤花貝塚	縄文前～後期	貝塚
4	地糧貝塚	縄文前～晩期	貝塚
5	大多古貝塚	縄文中～晩期、古代	貝塚
6	川戸沼貝塚	縄文前期か	貝塚
7	上ノ台B貝塚	縄文後期	貝塚
8	観音寺貝塚	縄文前～晩期	貝塚
9	山ノ内表貝塚	縄文	貝塚
10	紫雲山遺跡	古代	散布地
11	北方高見遺跡	古代	散布地
12	南行遺跡	古代	散布地
13	早坂館跡	中世	城館
14	南行館跡	中世	城館
15	首壇	中世	壇

※参照資料『宮城県遺跡台帳』『迫町史』



①八ノ森貝塚



②上ノ台貝塚



⑥川戸沼貝塚



⑤大多古貝塚とその周辺



⑦上ノ台B貝塚



⑨山ノ内表貝塚



⑧観音寺貝塚



⑪北方高見遺跡



⑩紫雲山遺跡

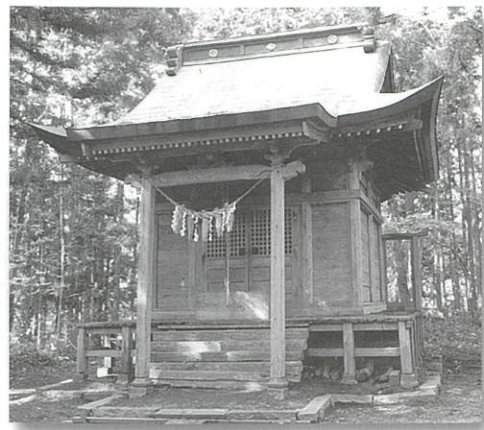


⑮首壇



## A 紫神社

本社は紫野今宮大明神より長保2年に遷座したと伝えられる。嘉永2年3月に今大路民部卿より正一位紫神社と賜り、明治12年には北方村の村社となった。



## B 兵糧山

天正19年の葛西・大崎一揆で伊達政宗軍がこの地に兵糧を運び炊飯の場所としたことからこの名前がついたという。



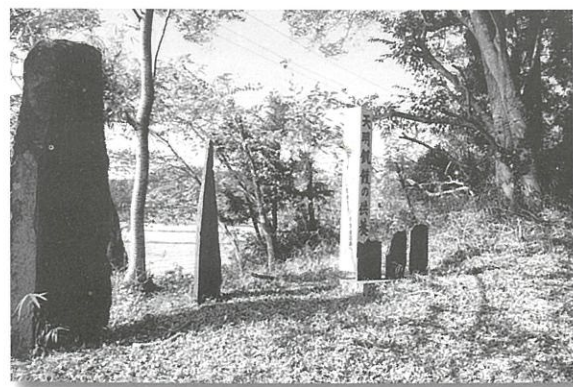
## C 首壇

天正19年一揆で佐沼城にたてこもった2,500人余りの首級を葬った場所と伝わる。



## D 心性寺

日蓮宗。開山は承応3年善性院日近聖人による。現本堂は慶応元年に建築、明治3年に大修理を加えている。鬼子母神堂は津田武康建立であったが、昭和44年に改築して現在に至る。



## E ほいと坂

元来貧しい土地であった北方村においても、全国的な飢饉であった天明大飢饉では多くの死者を出した。ここには当時亡くなった人々を供養する板碑がある。

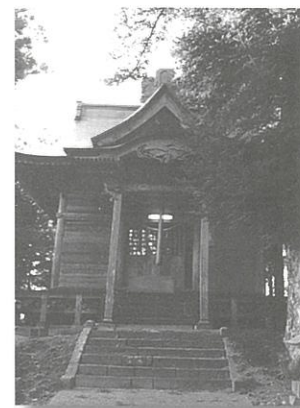


## F 三方嶋神社

大同年間、坂上田村麻呂將軍の蝦夷征伐の際、栗原郡畑岡に住んでいた悪徒に攻められようとしたとき、靈魂が現れてこれを退治したので、田村麻呂がこれを神靈とし、三宝荒神を飯土井山に祭ったという。その後北方村内町新田というところに遷宮し荒廃していたところを伊達家家臣の津田民部春康により享保元年10月現在地に奉祀されたと伝えられる。

## G 津嶋神社

北方日向字天形山に鎮座している。『安永風土記書上』によれば勧請年月日は不明であるが、天平2年の創建にして文治五年源頼朝が藤原秀衡征伐の際に祈願したことから戦勝を得て、葛西壱岐守清重が北方村日向に勧請し、羽生河内守定義（佐久間左衛門定義という説もある）に命じ守護させたという。また、伊達政宗が葛西・大崎一揆の平定を祈願したとも伝わる。後に現在地（佐沼）へ遷座となった。



## H 茶釜杉

三方島壇ノ浦にある杉の古大木で根本20尺、高さ100尺、大同年間に坂上田村麻呂によって植えられたと伝わる。茶釜杉の名前は形から名付けられ、飯土井神社が祭られている。杉は長沼のダム工事のために無くなっている。

## I 山王桜

北方字相ヶ沢にある。坂上田村麻呂が蝦夷征伐の際記念に植えた桜と伝えられる。このほかにも山王桜に関わる様々なエピソードや民話が伝えられ、桜の周囲には石碑やお堂が建っている。



## J 古宿船場跡（船越沼干拓）

昭和初期に船越沼干拓がおこなわれた。ここは、かつて一帯が船越沼地で南方までは船での往来が盛んにおこなわれていた。船場跡の小高い丘には弁財天が祭られているお堂がある。